

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	マイクロ波誘起非平衡状態の学理とその固体・界面化学反応制御法への応用展開
研究代表者	<p>和田 雄二            (東京工業大学・物質理工学院・教授)            ※平成29年6月末現在</p>
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、マイクロ波による局所場反応制御のための、非平衡局所高温場の反応のメカニズム解明に挑む意義あるものである。計測の空間分解能が十分であるか、また、国際的なリーダーシップがとれているかの疑問が少し残るが、予備的な研究も進んでおり実現可能性が高いと考えられる。また、化学産業においてもマイクロ波など局所場の反応制御を行う化学プロセスの設計法の構築は重要である。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>